

広島藩蔵屋敷跡発掘調査（HS01 - 1次）現地説明会資料

平成13年8月5日（日）
大阪市教育委員会
（財）大阪市文化財協会

大阪市教育委員会と（財）大阪市文化財協会は、平成7年度より北区中之島4丁目に所在する広島藩大坂蔵屋敷跡の発掘調査を行ってきました。今年度は屋敷跡の主に南東部での調査を進めています。

蔵屋敷と「天下の台所」

江戸時代の中之島および堂島とその周辺には、諸大名が領内で集めた年貢米などを販売するため、それらを保管する倉庫と役所や邸宅を兼ねた蔵屋敷が集中していました。その数は天保年間には124におよびました。当時の大坂は物資の集散の中心であり、まさに「天下の台所」でした。流通の拠点であった蔵屋敷はその象徴といえるものです。

広島藩大坂蔵屋敷

広島藩は浅野家を領主とする四十万石を越える大藩で、広島藩の蔵屋敷は大坂の「四蔵」の一つとされ、その規模で知られていました。屋敷を描いた絵図「芸州大坂御屋敷全図^{げいしゅうおおさかおやしきぜんず}」が幸い残されており、屋敷の詳細を知ることができます。それによると、藩主が利用した御殿^{ごてん}、赴任役人の役所やその住居であった長屋、米などを納めた蔵、堂島川から屋敷内に船を入れた船入^{ふないり}などが設けられています。これまでの発掘調査で船入や蔵などが見付き、絵図と対応することが明らかになってきています。

見つかった遺構と遺物

幕末の地表面が現在の地面から約2m下にあり、そこで数多くの遺構が見つかりました。調査区の北で見つかった井戸は、周囲をしっくい^{しっくい}と石で囲んでいます。「芸州大坂御屋敷全図」にある井戸に対応するとみられます。それにつながる南北方向の石組の溝（溝1）があり、現在約40mが見つかりています。南側は石が抜かれ溝のみになっていました。これに直角につながる素掘と石組の溝（溝2～7）があり、東の長屋からの排水の役割を持っていたと考えられます。東では建物にかかわるとみられる石列などが見つかりっていますが、絵図との関係をみていくと、長屋のかなりの部分は調査区のさらに東にあると考えられそうです。井戸の北では絵図に対応するとみられる蔵の基礎になる石列が見つかりました。中央では建物の基礎となる礎石が見つかり、HS97・98 - 1次調査で確認された建物跡につながるもので、御殿の一部と推定されます。なお、これらの遺構が絵図のどの位置にあたるかについては、現在検討を進めているところです。

石組溝や建物跡などからは、江戸時代の終り頃を中心とする遺物が出土しています。今後の整理作業で蔵屋敷の実態を知ることのできる良好な資料となるでしょう。

【広島藩大坂蔵屋敷略年譜】

- 元和5年(1619) 当地に蔵屋敷地を取得
元和6年(1620) 中之島の蔵屋敷完成
寛永2年(1625) 敷地を拡張し、総坪数約3,900坪となる
元禄5年(1692) 鴻池善右衛門、蔵元となる
慶応2年(1866) 「芸州大坂御屋敷全図」
明治4年(1871) 廃藩置県により広島藩大阪出張所となる(翌年廃止)
明治12年(1879) 屋敷跡地に府立大阪病院(後に阪大病院)が新築移転

【参考文献】

- 伊藤純・豆谷浩之1998 「新出広島藩大坂蔵屋敷絵図について - 浅野文庫本絵図の紹介」
『大阪の歴史』51号
大阪市1989 『新修 大阪市史』第3巻
(財)大阪市文化財協会1997 『広島藩大坂蔵屋敷跡』
佐古慶三1964 「広島藩と鴻池」 『広島商大論集』5-1
藤本 篤1989 「天下の台所」 『まちに住まう』平凡社
豆谷浩之2001 「蔵屋敷の配置と移転に関する基礎的考察」 『大阪市文化財協会研究紀要』
第4号



図1 調査地の位置

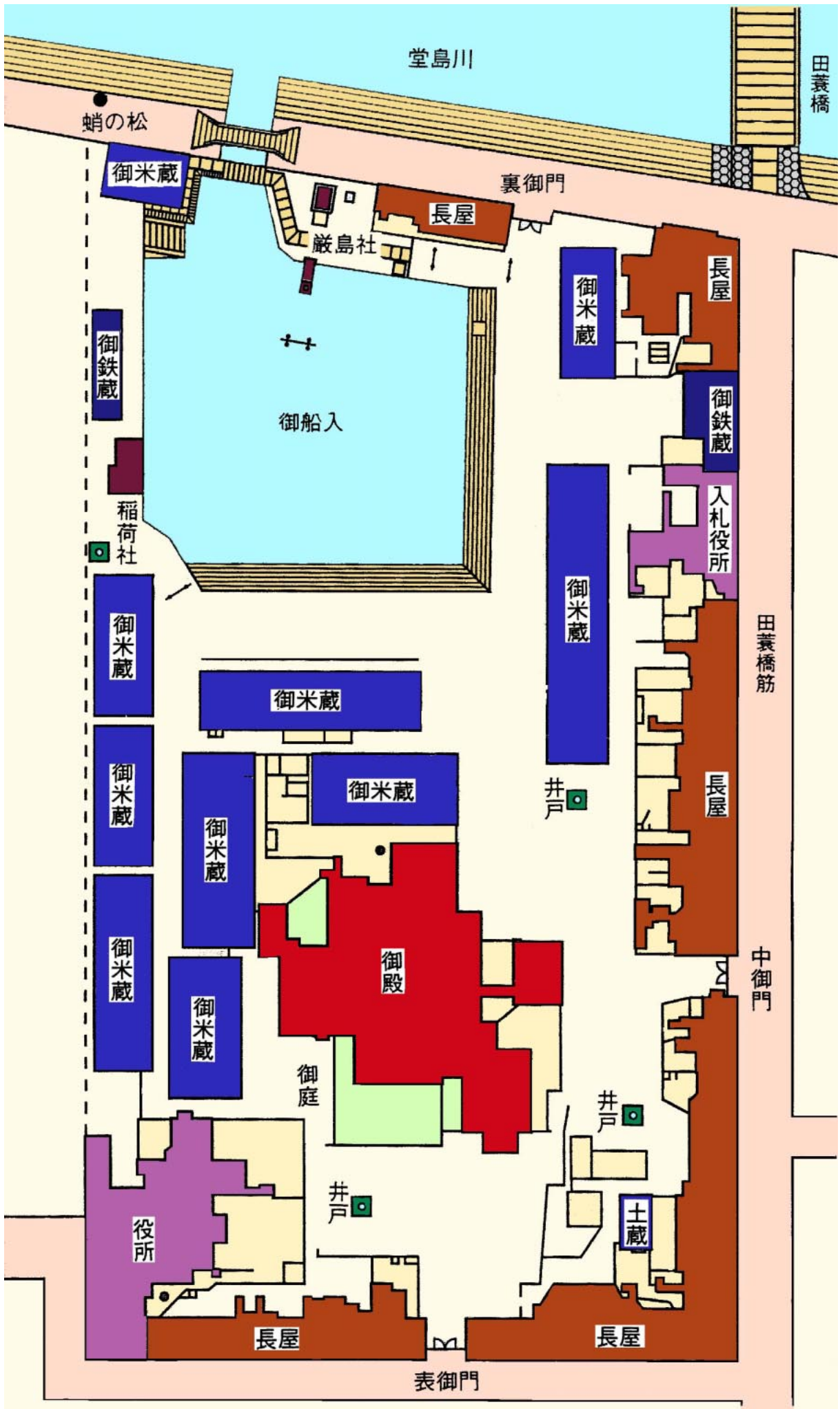
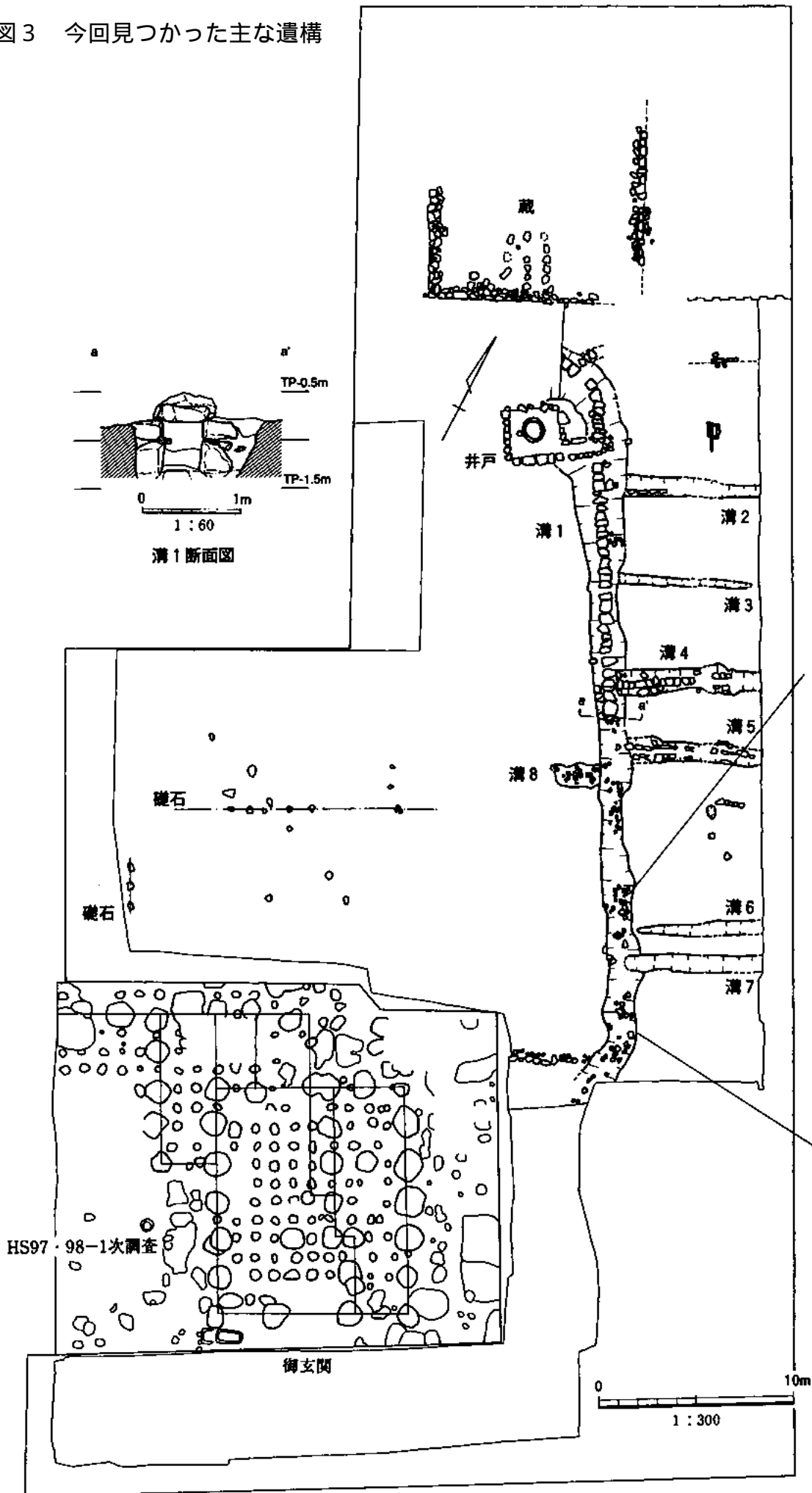


図2 慶応2（1866）年『芸州大坂御屋敷全図』に見える建物の配置と役割

図3 今回見つかった主な遺構



溝1 南半部の石組（北から）



溝1 南半部の石組（南から）

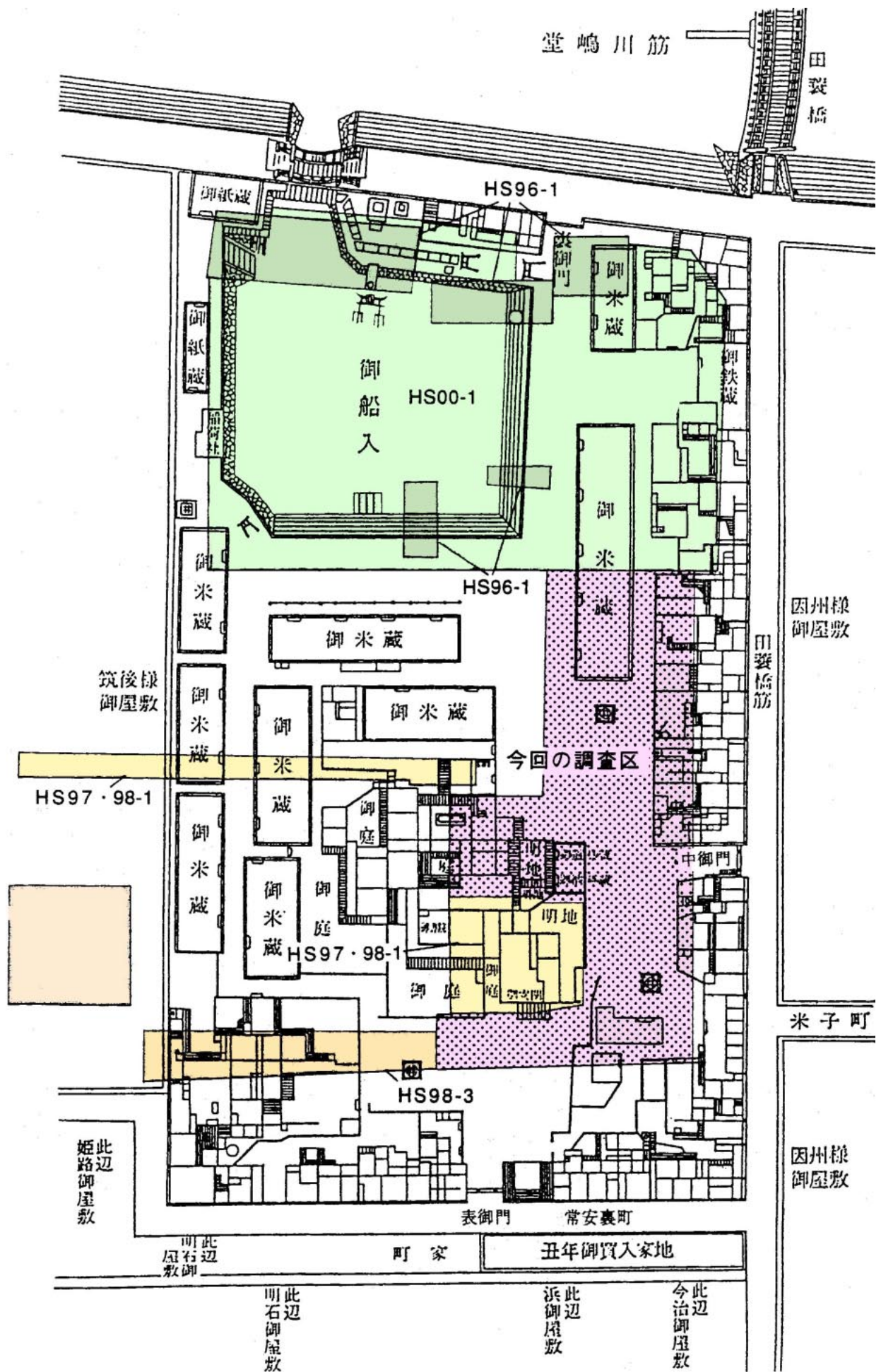


図4 調査区の配置（『芸州大坂御屋敷全図』に調査区のおよその位置を重ねた）



・船入(HS00 - 1)

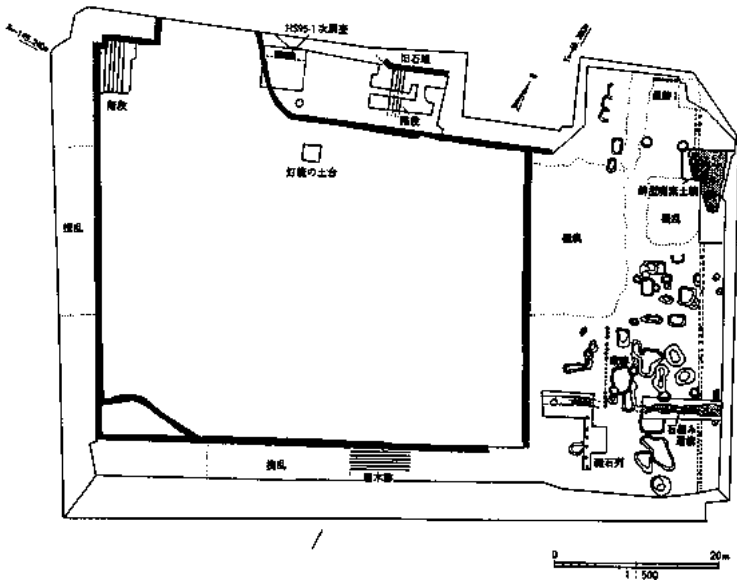
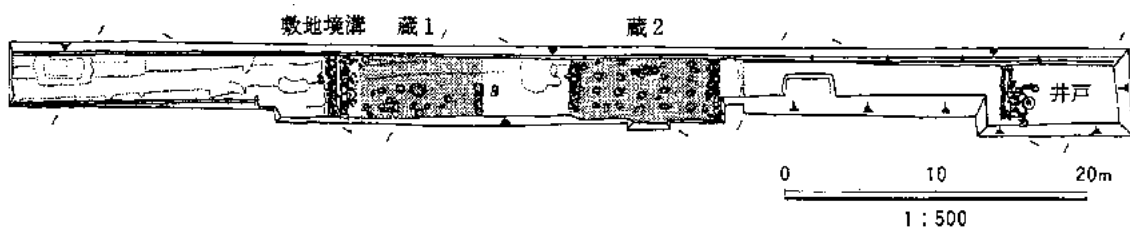
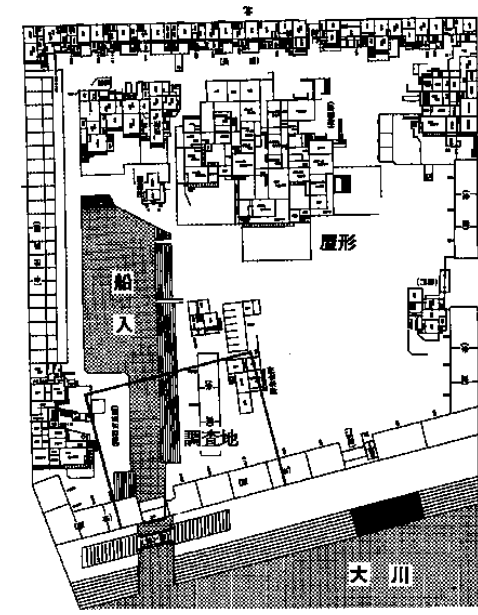


図5 広島藩蔵屋敷跡のこれまでの調査

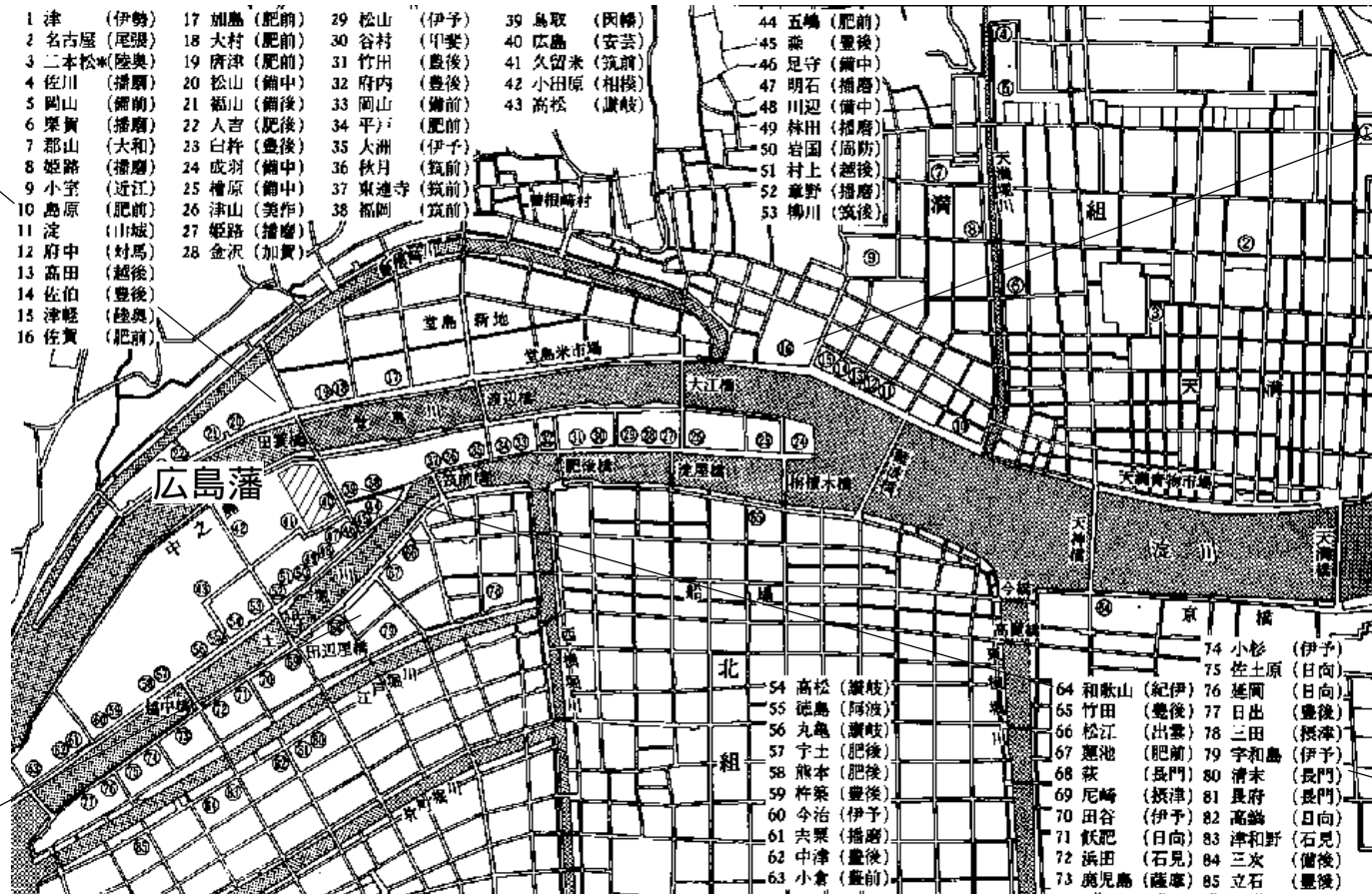
・蔵と敷地境(HS97・98 - 1)



・御殿の玄関(HS97・98 - 1)



福島1丁目所在堂島蔵屋敷跡の建物
(『葦火』79~81・86号)



佐賀藩蔵屋敷跡の船入
(『葦火』29号)

蔵屋敷の配置
(『新修大阪市史』に加筆)

萩藩蔵屋敷跡の石垣
(『葦火』90号)

鳥取藩蔵屋敷跡の建物
(『葦火』88号)

